

学術大会のシンポジウムテーマに「女」
が取り上げられるのは初めてです。
2018 年 12 月にチョ・ナムジュ『82 年
生まれ、キム・ジョン』（筑摩書房）で一気に
加速化したといわれる日本での韓国女
性文学ブームは現在も絶賛進行中で
あり、2017 年全米図書賞最終候補と
なったコリアン・アメリカンのミン・シン
リーによる『パチンコ』が 2020 年には
日本語訳出版され、柳美里『JR 上野
駅公園口』（モーガン・ジャイルズ訳『TOKYO UENO
STATION』）が 2020 年の全米図書賞
（National Book Award 翻訳文学部門）を受賞、と
枚挙にいとまがありません。
そこで、今シンポジウムでは、こうした現象
を生み出す主体でもあり客体でもある
在日朝鮮人女性と文学という観点から、
「女が書く」とは、「女を書く」とは、
いかなる営みなのか読み解いていき
たいと思います。

- 女が書く、女を書く - 文学の中の女性 在日朝鮮人女性

パネリスト

そん	へ	うおん	
宋	恵	媛	さん 大阪市立大学
たか	はし	あずさ	
高	橋	梓	さん 一橋大学
じょん	ほ	そく	
鄭	鎬	碩	さん 聖学院大学
はら	ゆう	すけ	
原	佑	介	さん 金沢大学

コメンテーター

うき	ば	まさ	ちか	
浮	葉	正	親	さん 名古屋大学
ほん	ジョ	ンウン	さん	大阪市立大学
おか	ざき	りょうこ		
岡	崎	享子	さん	立命館大学
司会	い	ち	のりこ	
	伊地知	紀子	さん	大阪市立大学

参加申請フォーム - 5月29日締切

2021 年 5 月 30 日 日 | 10:00 自由論題 13:00 公開シンポジウム
オンライン(ZOOM)開催 | 参加費無料 | 右の QR コードか URL よりお申し込みください
isksj@isks.org | <http://www.isks.org/office/japan.html>



https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=DQSIkWdsW0yxEjajBLZtrQAAAAAAN_gKr48tURDQ1SVpZQlhDV05PN1VGWDIKQU5BWkN0Qv4u